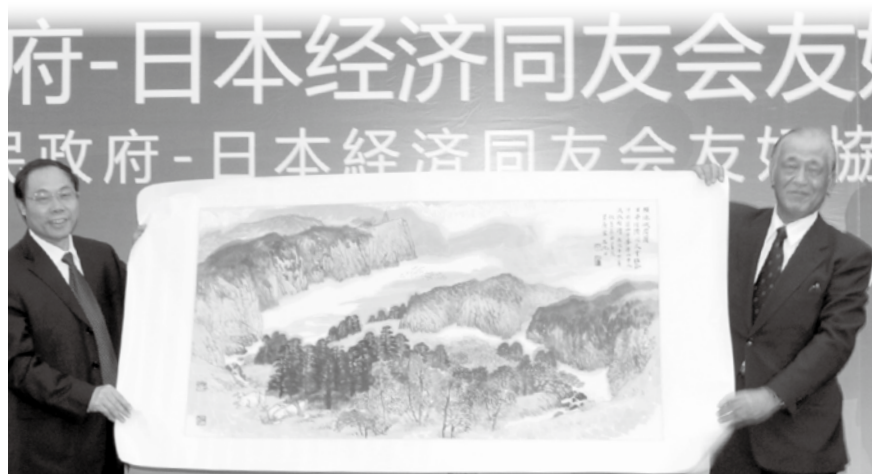


「戦略的互惠関係」の実現へ向け意見交換



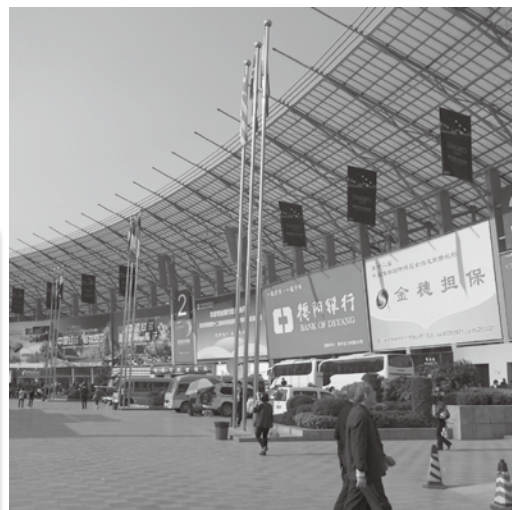
第12回中国西部国際博覧会にて



四川大地震跡地で献花後撮影



唐家璇前國務委員と



西部博のエントランス風景

中国委員会(石原邦夫委員長)は、10月17日～22日、成都市を中心とした四川省と北京市へミッションを実施した。昨年度、同委員会が発表した提言の実現へ向け、中央・地方政府、各研究機関等と活発な意見交換を行った。

訪中の目的

中国委員会は、2011年1月に提言『実効性のある日中「戦略的互惠関係」の構築に向けて』を発表した。提言の中には、日本の旅行会社による中国での営業免許の取得など、実現につながったものもある。今回は、この提言をさらに実現に結び付けるためのミッション派遣となった。

まずは、中国の中でも成長が著しい四川省を訪問し、中国西部国際博覧会に参加するなどして、地方関係者等と今後の日中間でどのような協力関係が可能か、意見交換を行った。北京では、中央政府関係者等と中国の12次5カ年計画の実現における日中協力関係について、意見交換を行った。

四川大地震跡地を視察

一行は、まず2008年5月12日に発

生した四川大地震の震源地近くを訪問した。震源地であるこの町は99%の家屋が倒壊し、被災前人口約1万人の内、6,566人の命が奪われたとされる。しかし、復興は目覚ましいものがあり、当初、3年の復興計画を一年前倒した。2年で完成させた新しい街並みは、少数民族の民芸などを中心とした観光街に生まれ変わっていた。復興には国も大きく関与はしているが、沿海部の省や市が積極的に資金面、人的面でサポートをしているとのことであった。今後の東日本大震災からの復興をかんがみても、大いに示唆に富むものであった。

中国西部国際博覧会、中国西部金融フォーラムへの参加

中国西部国際博覧会は、中国の西部地区が国内外との協力関係を強化させるために設立された国家級の博覧会である。第12回を迎える今回のテーマは

「国際協力をリードし、市場空間を開拓する」。国内外から企業4,564社が参加しており、日本からも日本貿易振興機構や横浜市、各企業が参加した。

また、博覧会の一環として開催される中国西部金融フォーラムでは、石原邦夫中国委員長がスピーチを行った。主な内容は東日本大震災の報告と西部地域における金融促進に関するものである。

「西部地域については、日本の企業にとって今後ますます重要な進出先・投資先になる。日本としても、さまざまなノウハウ・技術面で積極的に協力していきたい。しかし、日本企業が進出するに当たり、少なくとも知的財産権保護および各種規制緩和など金融面での環境を整備することが極めて重要な課題となる。また、日中間での貿易総額が、拡大し続けていることから、人民元建て決済、日本円建て決済を拡充し、日本円と人民元とが直接決済をで



中国西部金融フォーラムでの石原委員長のスピーチ

きる体制を構築してもらいたい」と述べた。

このほか四川省では、黄小祥四川省人民政府副省長との会見、樂山市政府等との懇談が行われた。

成長著しい西部地域の四川省では、どの訪問先でも大きなパワーを感じた。中国全体としては、外資企業への優遇措置は廃止されることとなった。しかし、西部地域ではいまだ積極的に外資企業の導入を進めており、2000年代初めのころの沿海部の日系企業誘致合戦と同様の様相を呈している。今回も至る所で積極的なアプローチを受けた。内需拡大政策の下、内陸部のマーケットが大きく拡大していけば、まだ人件費コストが低い西部地域への進出は、日系企業にとっても、大きなメリットとなるであろう。

唐家璇 前国務委員との懇談

北京で行った唐家璇前国務委員との懇談は今回で3回目となる。同氏は、経済同友会の中国委員会提言に言及し、「日中間は戦略的互惠関係の下、あらゆる面において関係強化を図っていくべきである」という点について、同様の見解を示した。一方、中国経済から見た日本のウエートは相対的に下がっている。日本は、相手との関係を考えてながら危機感を持って対応を変えていくことが必要であろう、とのアドバイスがあった。

このほか北京では、中国社会科学院での講演、張長春発展改革委員会投資研究所長等との懇談などで、12次5カ年計画についての意見交換を行った。特に、中国では農村部と都市部間等での社会格差が指摘されているが、トップ層は、「経済成長をある程度犠牲にしても、格差是正を行っていかないと現行体制の維持は厳しい」との認識を示していた。

今年は日中国交正常化40周年を迎える。これを節目としてあらゆる分野で

のさらなる交流を拡大し、戦略的互惠関係を揺るぎないものにしていく必要性を痛感したミッションであった。

中国ミッション日程

10月17日(月) 成都着

18日(火)

- 映秀鎮(四川大地震跡地)視察
- 都江堰視察
- 都江堰市委・市政府主催の昼食会
- 中国西部国際博覧会展示場視察
- 樂山市政府・企業との会合
- 黄小祥 四川省人民政府 副省長との会見および歓迎晩餐会

19日(水)

- 中国西部金融フォーラム・参加【石原委員長スピーチ】
- 金融フォーラム歓迎昼食会
- パンダ繁殖基地視察
- 中国西部国際博覧会主催の歓迎晩餐会

20日(木) 北京へ移動

- 社会科学院との会議
- 丹羽宇一郎 駐中国全権大使との懇談会

21日(金)

- 唐家璇 前国務委員との懇談(中南海)
- 新川陸一 日本銀行北京事務所長による講演
- 張長春 国家発展改革委員会 投資研究所長との会見および晩餐会(釣魚台)

22日(土) 東京着

28日(金)

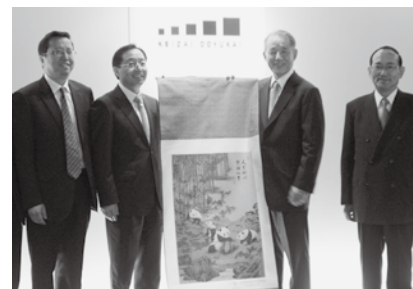
- 黄小祥 四川省人民政府 副省長の訪日(覚書の締結)および晩餐会

(役職は開催時)

黄小祥四川省人民政府副省長の訪日と「経済分野における交流・協力の深化に関する覚書」の調印



中国ミッションの翌週、黄小祥四川省人民政府副省長以下14名が訪日した。訪中ミッション参加企業も含めた企業訪問を行うとともに、10月28日、経済同友会事務局を訪問し、長谷川閑史代表幹事、前原金一副代表幹事・専務理事との会見を行った。同日、経済同友会は、四川省人民政府との「経済分野における交流・協力の深化に関する覚書」に調印した。



※詳しくは <http://www.doyukai.or.jp/policyproposals/articles/2011/111118b.html>